

令和5年度「筋刈り実施にかかる現地検討会」を開催しました

令和5年6月16日（金）、むつ市川内町湯ノ川国有林741林班ろ1小班において下北森林管理署・下北地域再造林推進協議会との共催の筋刈り実施にかかる現地検討会が開催されました。

当日はあいにくの雨となりましたが、県・市町村・林業関係者ら46名が参加し盛大に開催されました。はじめに、昨年、筋刈を実施した事業体のアンケート調査の結果について説明があり、今年度実施する筋刈りの「刈り幅」や「筋の入れ方」について注意する点等について説明が行われました。

その後は、株式会社キャニコムから造林機械「山もっとモット」の説明及び、刈り払いの実演等が行われました。この検討会には当署の若手職員も多く参加しており、普段見られない造林機械に興味津々でした。

「山もっとモット」はアタッチメントを変更することで、苗木等の運搬にも活用できるとのことなので多目的な造林事業の支援が可能となり、これまで重労働であった作業も簡易的に行えるようになると感じました。

当署では、このような検討会を各事業体と意見交換や情報共有できる貴重な場と考えており、今後も継続して開催していきたいと考えています。また、若手職員にとっても林業事業体等と交流のできる貴重な機会となるので積極的に参加させて行きたいと考えております。

